

伊豆の国市立 あゆみ保育園 園長 近藤 栄己

今回は伊豆の国市立あゆみ保育園を訪問させていただきました。昭和二十八年長徳寺住職が境内に設立、昭和三十三年長徳寺保育園の認可を受けて開設、昭和四十七年葦山町に委託し、葦山町立堀越保育園を創立し、平成十七年三町合併により伊豆の国市立堀越保育園となる。平成二十五年新園舎落成、移転に伴いあゆみ保育園に改名。歴史のある保育園です。



平成二十七年七月に世界文化遺産に登録された葦山反射炉で知られる、伊豆箱根鉄道駿豆線葦山駅から程近く、葦山文化センター・葦山時代劇場が隣接し、周囲には田園風景が広がる恵まれた環境の中にありました。子ども達は、日ごろから蛭ヶ島公園や城池親水公園への散歩など、葦山の深い歴史に触れる機会も多くあるそうです。

また新しい平屋建ての園舎は先生方の多くの経験とアイデアが詰め込まれた、すばらしい建物でした。玄関ホールに入ると、木材

がふんだんに使われた温かく心地よい空間が広がります。高窓から差し込むやさしい光があふれる保育室の前には気持ちの良さそうなテラスがひろがり、さらにゴムチップ舗装の先に広い園庭が広がって子ども達はのびのびと元気に遊んでおりました。

近藤園長先生は、温かさのある保育園、地域に開かれた保育園を経営方針に、子ども達一人ひとりが大切にされて自分の思いをきちんと伝えられる、自己肯定感の育まれる保育を心がけているそうです。地域の交流が大変盛んだということで、取材当日には地元の葦山中学校の二年生三十五名が来園していました。これは、技術家庭科授業の一環で、子どもと触れ合う体験として中学生が自分達で遊びの



プログラムを考え、絵本の読み聞かせをしてくれるそうです。他にも周辺の高校、特別支援学校の高等部など、多くの生徒が体験やボランティア



活動で訪れるそうです。また、民生児童委員さんや近くの高齢者のクラブの方々が、このほりの設置や子ども神輿体験などの、園行事の手伝いに来てく

れたり、近くの田畑を借りての田植え、稲刈り体験や、餅つきをしたり、畑で取れた野菜を子ども達と一緒に調理して、一人暮らしのお年寄りとかレーを食べるなど、特別な行事だけではなく、園の活動の中に自然に地域の方が参加している様子が伺えました。園内にも、「おじいちゃん先生」と呼ばれる児童指導員がおり、花壇や野菜の手入れなどをしてくれているそうです。最近では東部地域の家庭でも田畑の作物や地域伝統行事などへの触れ合いが少なくなっています。地域の様々な機関・団体と連携を取って保育に生かしているあゆみ保育園さんは、地域全体で子育てをしていると強く感じました。

今回は年末のお忙しい中、快く取材に応じてくださいました近藤園長先生をはじめ職員の皆様、本当にありがとうございました。